

はえばる NEWS



おおしろりか
大城 璃佳
平成 25 年 7 月 5 日生まれ

人に優しく
明るく
元気に育ってね

母：知子
父：朝春（字津嘉山）

わが家のアイドルコーナーでは、満3歳までのちびっ子を募集しています。掲載写真はお返しします。総務課広報担当までご連絡ください。 ☎889-4415

わが家のアイドル



科学の不思議☆ 米村でんじろうサイエンスショー

町教育委員会は、テレビでお馴染みの米村でんじろう先生を招き、中央公民館でサイエンスショーを開催しました。本事業は沖縄振興特別推進交付金を活用したもので、「学ぶことの楽しさ」を体験し、学力の向上を図ることを目的としています。町内 4 小学校の 5・6 年生（約 900 人）が鑑賞し、風船口ケツや熱気球、静電気など色々な実験を通して科学を学びました。子どもたちや先生も実験に参加し、楽しく科学の不思議を体験しました。



赤十字県支部久田事務局長（右から2番目）と関係者の皆さん

熊本地震 義援金を贈呈



6月17日紺組より贈呈

熊本地震の義援金として 724,811 円が町より日本赤十字社沖縄県支部へ託されました。この義援金は、町役場の職場募金で募ったものと町内 3 カ所に設置した義援金箱に町民の皆様から寄せられたものです。

国吉副町長は「厳しい現状が続いているが、一日も早い復興に向かうよう南風原町も共にあるという思いを義援金と一緒に届けてほしい。」と述べ、赤十字県支部の久田事務局長へ義援金を手渡しました。あわせて、南風原中学校、北丘小学校、琉球絣事業協同組合より町に託された義援金も贈呈されました。

このほか、町では戦時中に疎開先として多大な恩を受け、今も交流が続く熊本県八代市へ義援金を贈呈しています。

学校給食でカナダ体験♪

カナダの建国記念日（カナダデー）に合わせ、町内小中学校においてカナダにちなんだ給食メニュー（パン、牛乳、サーモンチャウダー、とうもろこし、メープルマフィン）が提供されました。

町では友好都市を締結しているカナダレスブリッジ市との間で様々な交流活動が行われており、その一環として、カナダの食文化を身近に感じてもらおうと昨年より実施されています。



いただきます♪（南風原小学校）

「琉球絣」を学びます！！

平成 28 年度琉球絣後継者育成事業の開講式が琉球かすり会館で行われました。この事業は昭和 55 年から続いており、今年も 6 名が参加します。参加者らは、来年 2 月までの約 8 ヶ月の間に、琉球絣の織りを中心にデザインや染色等を学んでいきます。



6名の参加者と関係者の皆さん



何が出来るかな？

南部農林高校生 津嘉山幼稚園で 保育体験



素敵なコマを作りました♪

南部農林高校の 2 年生 11 人が「子ども文化」の授業の一環として保育体験を行いました。この授業は、子どもの健全な成長に関心を持ち、関わろうとする意欲や関わる能力を身につける目的で行われ、優しい高校生たちとの交流に園児たちにも笑顔が溢れました。

津嘉山幼稚園の栗森米子園長は「今回の経験をきっかけに保育士も職業の選択肢の一つにしてもらえたら嬉しい」と話しました。



北丘小児童との空手体験の様子



南風原中空手同好会による演武

オーストラリアの空手家たちと交流

南風原中学校と北丘小学校で、オーストラリアから訪れた空手家たちとの交流が行われました。この取り組みは、外国の文化や考え方に触れることを目的とし、小学校においては中学校必須科目の空手道の良さを伝えることをねらいとして行われたものです。自身も道場で空手を指導し、少年指導員でもある春田憲佑さん（字与那覇）の計らいにより実現しました。大迫力の演武に会場は終始盛り上がり、南風原中では「空手の魅力は？」という質問に空手家のセナトーレ氏が「お互いを尊敬し合うこと、皆と一緒に練習できること」と答え、生徒たちも感心した様子でした。



脚本賞創設記者会見